

今野やすとし一般質問一覧

※質問の詳細及び執行部からの答弁は下記、伊勢原市議会ホームページの会議録をご参照ください。

<https://www.city.isehara.kanagawa.dbsr.jp/index.php/#detail>

年月	No.	質問項目	質問要旨
令和4年12月	1	スマートシティの推進について	(1)スマートシティをはじめとするICTを活用するまちづくりについて ◎ 人工知能(AI)やビッグデータなどの先端技術を活用し便利で暮らしやすい街づくりをめざす次世代都市「スマートシティー」をはじめとするICTを活用するまちづくりに関してどのようなお考えをお持ちなのか見解を伺います。
			(2)伊勢原市ICT推進計画の進捗状況と今後の取組について ◎ 本市においては令和2年3月に「伊勢原市ICT推進計画」を策定し、ICT技術を活用した利便性の高い市民サービスの提供、行政事務の効率化、情報セキュリティの向上を目的として様々な取組を行っていますが、当計画の進捗状況と今後の取組について伺います。
	2	市内事業者との連携強化について	(1)市内事業者との災害時協力協定締結の現状について 本市は災害時協力協定を多くの事業者、団体と締結していますが、そのうち市内事業者との協力協定締結の現状を伺います。
			(2)公共事業の市内事業者活用の現状と課題について 自然災害に対して住民の安全を確保し被害を最小限に食い止め、大規模災害発生時には災害廃棄物等の解体撤去、収集・運搬作業などにも地域の事業者の協力が必要不可欠です。更に市内の経済を回し市税収入を増やしていくためにも、市内事業者との連携・活用が重要と考えますが、公共事業の市内事業者活用の現状と課題について伺います。
令和4年9月	1	有権者の投票環境向上について	(1)投票所のバリアフリー化の現状について ◎ ここ数年間で投票所のバリアフリー化は徐々に進めて頂いていると承知しています。ただ、全ての投票所についてバリアフリー化が整っている状況ではと思います。市内に27カ所ある投票所のバリアフリー化の現状を具体的に伺います。

年月	No.	質問項目	質問要旨
			(2)愛甲石田駅周辺の期日前投票所設置の検討状況について ◎ 期日前投票が浸透し利用する有権者が増えている状況のなかで、愛甲石田駅周辺に期日前投票所を設置することが強く望まれています、検討状況を伺います。
			(3)共通投票所の設置について ◎ 共通投票所は有権者の利便性向上を目的に2016年参院選から導入され、居住する地域に基づいて指定される投票区の投票所とは別に設けられ、居住する市区町村内の有権者なら誰でも投票が可能となります。本市においても共通投票所の設置を検討すべきと考えますが、見解を伺います。
	2	学校教育のデジタル化とデジタル・シティズンシップ教育について	(1)GIGAスクール構想の進展状況について ◎ 市内小中学校の児童・生徒に一人1台のタブレット端末と高速大容量の通信ネットワークが一体的に整備されて2年目に入りました。児童・生徒、教員及び保護者からどのような声が上がっているのかを含め、GIGAスクール構想の進展状況について伺います。
			(2)GIGAスクール構想の課題について ◎ GIGAスクール構想がスタートしてから学校教育の現場では様々試行錯誤しながら前に進めていると思いますが、現状どのようなことが学校や家庭で課題となっているか伺います。
			(3)デジタル・シティズンシップ教育について ◎ これまで学校において、情報モラルについての指導が行われてきていると思います。情報モラル教育は、インターネットの危険や悪影響を学ぶ傾向にあり、ルールを提示して守らせることが中心になっているとの指摘があります。子どもたちが1人1台端末を持つ時代を迎え、児童・生徒が積極的にデジタルを使う自分と向き合いながら、主体的に考えて行動できるように促す「デジタル・シティズンシップ教育」、つまりデジタルのよき使い手になる市民教育の必要性が高まっています。今後は「デジタル・シティズンシップ教育」が重要になると考えますが、見解を伺います。
令和4年6月	1	公共工事の平準化について	(1)公共工事平準化に向けての現状と課題について ◎ 少子高齢化、人口減少社会において、地域の人材確保が年々難しくなっている中で、建設業界の活性化による担い手確保のためには、公共工事の平準化が要です。公共工事平準化に向けての現状と課題について伺います。

年月	No.	質問項目	質問要旨
			(2)債務負担行為の積極的な活用について ◎ 幹線道路や橋梁など、長い工期を要する工事だけでなく、生活道路の舗装工事、修繕工事などにも債務負担行為を設定し、年度をまたぐ工期で発注できるようにする事も必要と考えますが、見解を伺います。
			(3)公共工事への「ゼロ市債」の活用について ◎ 近年、公共工事の平準化を図るために、「ゼロ市債」を活用する自治体が増えています。「ゼロ市債」の活用について、現状と今後の方針について伺います。
	2	医療的ケア児の支援について	(1)医療的ケア児の現状について ◎ 我が国では、19歳以下の医療的ケア児の数は2020年現在、全国で1万9千人を超え、この2005年から約2倍に増えました。 本市における医療的ケア児の現状を伺います。
			(2)医療的ケア児及びその家族への支援の現状と課題について ◎ 学校や保育所などに看護師を配置、家族から相談に応じて適切な情報を提要するなど、医療的ケア児及びその家族への支援は重要です。その取組の現状と課題について伺います。
			(3)医療的ケア児の支援拡充について ◎ 令和3年9月、居住地に関わらず、等しく適切な支援をすることを国や自治体の責務とした「医療的ケア児支援法」が施行されました。 今後、本市においては医療的ケア児及びその家族への支援拡充をどのように図っていくのか、伺います。
令和4年3月	1	学校教育について	(1)コロナ禍における小中学校臨時休業時の対応について ◎ 本年に入り新型コロナウイルス感染症の第6波となり、小中学校を臨時休業にするケースが増えていますが、本市において小中学校を臨時休業にする基準及び臨時休業時の対応について伺います。

年月	No.	質問項目	質問要旨
			(2)不登校児童生徒の現状と支援について ◎ 文部科学省は、2020年度に不登校だった小中学生が19万人に上ったとの調査結果を発表しました。この数は8年連続の増加であり、統計開始以来最多となりました。本市の不登校児童生徒の現状とその支援内容について伺います。
			(3)小中学校教員不足の現状について ◎ 全国の小中学校で教員が計画通りに配置されていなかったことが、文部科学省が初めて実施した教員不足の実態調査で明らかになりました。本市の小中学校教員不足の現状及び来年度の見込みについて伺います。
	2	地域防災力の強化について	(1)防災リーダーの育成について ◎ 第5次総合計画 中期戦略事業プランの「自主防災活動推進事業」で地域住民や事業所等による自主的な防災活動の充実を図るため、防災リーダーの養成を行っていますが、現状の取組状況を伺います。
			(2)防災アドバイザー制度の創設について ◎ 同じく、中期戦略事業プランの「自主防災活動推進事業」で防災アドバイザー制度の創設を掲げていますが、現状の取組状況を伺います。

年月	No.	質問項目	質問要旨
			<p>(3)地元気象台との連携について</p> <p>◎ 気象庁では、地域防災支援の取組を推進しています。地域交流人材配置による「担当チーム」を気象台にて編成し、担当地域を固定することにより各市町村固有の課題への対応を含め市町村に寄り添い、担当者同士の緊密な連携関係を構築する、とされています。具体的な取組として、平常時には、気象防災ワークショップなどの開催や防災気象情報の地域ごとの活用についての共有などが行われ、災害時には、早い段階からの記者会見などを実施し住民に見通しを伝えるとともにホットラインによる首長への助言なども行うとされています。本市と、地元気象台との連携状況について現状を伺います。</p> <p>【再質問】『気象防災アドバイザー』の活用について</p> <p>『気象防災アドバイザー』とは、自治体の防災の現場で、即戦力となる者として、気象庁が委嘱した『防災の知見を兼ね備えた気象の専門家』です。自治体に、自らのリソースとして活用することで、気象台では手の届きづらい部分まで、支援を期待することができます。今後は、地元気象台との連携を強化することに加え、「気象防災アドバイザー」の活用が地域防災力強化につながると考えますが、見解を伺います。</p>